



19931226
 総7号
 発行
 桂坂
 自治連合会

姿を現したセンターゾーン

— 地域の中に輪をひろげ 「人にやさしい桂坂」 —

今、桂坂センターゾーンに二箇所、鉄骨が組まれ、ロータリー東側では公園の造成工事が進んでいます。待ち望んでいたセンターゾーンがその一部にしろ姿を見せ始めたところです。この桂坂のよりよい発展充実を願い、先ごろ行政住宅関連業者との懇談会を相次いで開きました。行政市バスの桂ゆき直行便の増発は検討課題。平成六年の九号線に通じる道路完成時には四〇kmの速度制限、駐車・はみ出し禁止などの交通規制を予定。警官派出所は人員不足など諸般の事

情ですぐには設置不可能。住宅関連業者——来春、桂坂センター前に特定郵便局と京都中央信用金庫が営業を始め、他の店舗は決まり次第発表する。センターゾーンの東側には住民のために近隣公園を造る。今後とも建築協定を守り統一ある街づくりを行っていく。要点のみ列記しました。

その他、山の手倶楽部から「老人クラブハウスの設置」についての協力要請、山崎中学校校長からは「学校コミュニティプラザ構想」（田邊試案）についての説明などもありました。

組織づくりにご協力を

自治連合会会長 菊池 潤治

年の瀬を迎え何かと気ぜわしくなっています。学区内の各種団体長の方々が、学区の皆様方にはお変わりなくご精進の事と存じます。平素は、自治会活動に、格別のご協力をいただき感謝しております。さて、過日、第一回桂坂

自主防災会の設立

自主防災会は、学区住民が「連帯協同して火災・地震・風水害による被害を未然に防止し、「被害を軽減する」ことを目的に、具体的に防災に関する知識の普及、活動に必要な資材・器具の整備、訓練の実施などを行うものです。本部は自治連合会と各種団体の連携により構成されます。

地域女性会 設立まじか

来春二月二十七日(日)十時、府・市議員、西京消防署長等各位ご臨席のもと、発会式を行い、正式に発足します。当日は、大枝中学のブラスバンドも参加、式を盛り上げる趣向になって

第三回 学区 体育祭

秋晴れの十月十日(日)、第二桂坂学区民体育祭が開催されました。年々、参加者も増え、今年も、八自治会の参加となりました。

風船割りの男女ペアに大笑いをしたり、綱引きでは見ている人も一緒にオーエス。我を忘れて大声で声援した自治会リレー。昼休みには、ご近所の方々とお弁当をひろげ、仲良く、談笑する風景も見られました。幼児からお年寄りまで、参加者全員が親睦とコミュニケーションの輪を広げ

- 総合優勝 しらかば自治会
- 第二位 あかしあ自治会
- 第三位 かえで自治会



大枝、塚原と言えは筒柿の名産地として京都では有名です。

北は足利尊氏の六波羅攻め、明智光秀の本能寺奇襲に利用された唐櫃越えから、南は山陰と京都を結ぶ重要な、日本最古の山陰道の間が開発された桂坂。南西の海拔六四〇米の小塩山の頂上付近には、日本一高い淳和天皇の御陵が又、老の坂付近には源頼光が四天王を率いて退治した酒天童子の首塚があり、小倉百人一首の小式部内侍の詠んだ天江山いく野の道は遠ければ、まだふみも見えず天の橋立の大江山はこの付近と聞いております。その歴史ある桂坂の土地

自治会 紹介

大枝の山に産声をあげた桂坂かえで自治会
 松尾 隆夫

名前をとった自治会名、最初は近所の方々の顔も名前も解らない、そこで考えたのがクリーン大作戦(後のふれあいクリーンデー)で井戸端会議的でもないから顔を覚えよう、又、街が奇麗になるとの二石二鳥で始めました。ご多分にもれずゴミ収集日にはカラスが野犬が食い荒らすし、野犬が多いし、犬の糞公害はあるし、路上駐車は多いしと問題は山積み。桂坂では一気呵成にやら

楽しい一日となりました。日頃、運動不足のお父さん、お母さん、たまには、よい汗をかきましょう。

去る十月十七日、川岡小

学校において開催された西

京区ゲートボール連合主催

の西京区長杯ゲートボール

大会に参加し、各学区の強

豪とのトーナメント

に熱戦を演じ、運良

く十七学区の頂点に

立ち、賞状と区長杯

を手にして、喜びと

満足感に浸りました。

当日のチームは、

監督・平本清市、主

将・木村清子、選手

は松本正二、木村重

雄、松本昭子、野呂

小安、藤田よし子、

日比野美代子の八名で、全

員の一致結束したチームブ

レーの成果でした。

その後、有志の提案で桂

坂ゲートボールクラブ全員

の喜びと誇りであるので、

総括を兼ねて祝勝会を開く

ことになり、会員全員と同

意で軽飲食と歓談の楽しい

時を過ごし、記念写真も撮

り、有意義な祝勝会

でした。

総括での結論は、

チームプレーに徹し

たこと、日頃各人が

自主的にする練習の

成果と試合における

平常心の維持である

ことに集約されまし

た。

今後も常に提唱し

ている会員相互の融

和と協調、親睦を念頭にお

くことが、快適な日常と勝

利に繋がるものと確信しま

す。

平本 清市

ふれあいの里など施設と自

治会との交流を計られ、見

事に地域に根付きました。

「少年補導委員会」

子供スポーツ大会

ビートボール

十月二十一日、少年補導

委員会の主催する子供スポ

ーツ大会「ビートボール」

が、桂坂小学校で開催され

ました。各自治会より参加

チームは計十五。試合はト

ーナメント形式でした。

一位あかしあBチーム

二位かえでCチーム

三位はふらAチーム

「年々、参加者が増え、今

年は一六四名になりました

が、来年も元気で参加して

ください」（永井会長談）

森田 博氏（元あかしあ

自治会会長）は、療護園

「交通安全推進委員会」

迷惑駐車は止めましょう

以前から迷惑駐車が目

にあまりありません。特に、ふれあ

いの里南側の路上駐車です。

惑をかけまいの気持ちで！

生活を送られています。

（また、在宅の重度身体障

害者、重症心身障害者が通

所して、日常生活の訓練、

軽作業などを行う、デイ

サービスセンターも併設さ

れています。）

入所者の園における生活

を楽しく豊かにするために

ワイプロ、七宝焼、スポー

ツなどサークル活動も自主

的に行われ、その作品はな

かなか立派なもので、入所

者の頑張りや職員の方々の

熱意が伝わってきます。

入所者の「自分の住んで

火災など緊急車両の通行

の妨げにもなりません。車の

かげから子供さんのとび出

し事故も起きています。

まずは一人一人が人に迷

惑をかけまいの気持ちで！

生活を送られています。

（また、在宅の重度身体障

害者、重症心身障害者が通

所して、日常生活の訓練、

軽作業などを行う、デイ

サービスセンターも併設さ

れています。）

入所者の園における生活

を楽しく豊かにするために

ワイプロ、七宝焼、スポー

ツなどサークル活動も自主

的に行われ、その作品はな

かなか立派なもので、入所

者の頑張りや職員の方々の

熱意が伝わってきます。

入所者の「自分の住んで

この号は、松尾かえで自治

会会長、山の手倶楽部、平本

清市さんのお手を煩わし、ま

た、田原さんと療護園の谷角

山田のお二人も快く取材に

に応じてくださって、伝達事項

ばかりで無味乾燥になりがち

な紙面に彩り鮮やかな「華」

をあしらっていただきました。

ありがとうございました。

取材・原稿の執筆は編集委

員の基太村・山田（ま）があ

たり、文選印刷は西田・加藤

が担当しました。この号がいく

らかでも広報紙らしくなった

とすれば紙面づくりに際し、

地域の実情を踏まえた、ユニ

ークな案を提示するとともに

自らその取材を担当した前

二名の力がたいへん重要です。

このうちの幾つかは今後も運

載。ご期待ください。

一つの組織の大切な伝達手

段である「広報紙」は「文選」

レイアウトまではワイプロで

何とかありますが、大量の

「印刷」となるとままたま

ません。自らの手で継続的に

発行する場合、この「印刷」

がネックになりそうです。

各区の「相談室」が「地域

振興室」と名を大きく変えま

した。小さな「文化事業」と

もいえる広報紙の継続的発行

を保証するような簡便な「印

刷」設備が各区に備わり、自

由に使えたならば、「田邊試

案」の意に沿って「地域振興

」も実あるものになるのでは

ないでしょうか。恰好の「印刷

室」を望みたいところです。

（編集部）



大枝 今むかし

私たちの街・桂坂の変遷

を、大枝地区在住の、元大

枝自治会長・田原正夫さん

からお聞きした、その「聞

書き」をもとにたどってみ

現在、天蓋公園と呼ばれ

ているあのあたりは、「て

んがぎき」と呼ばれ、東と

西に同じ高さの小高い丘が

あって、男の子たちの兵隊

ごっこには格好の場所です

た。女の子たちは、わらび

採りでもしていたのでしょ

うか。それとも水晶が出た

られていたからです。

その間、地元の人が一番

苦勞したのは、実は、いの

ししの被害でした。人の入

らなくなった山や田は、い

のししの格好の遊び場と化

し、時には、人家のすぐ裏

まで姿を現しました。被害

の続出にワナを考えたたり、

その対策に迫られました。

こんなことありましたか

ら、一日も早い着工を願っ

た人びとは、西部都市開発

（現・西洋環境開発）と共

に、許可を求めて奔走しま

した。その結果、昭和五十

八年、桂坂の造成が開始さ

れるのです。

療護園（定員五十名）は、

です」と話されました。

ふれあいの心を大切にで